

中野中学校 学校だより

楽しい楽校、支え合う合校、そして自ら学ぶ学校

(生徒・保護者・地域のみなさんへ) 第9号<特別号> 令和2年2月10日(月)発行

「チーム中野 令和元年度の取り組みと成果、令和2年度に向けて」

相模原市立中野中学校

□校長より<「チーム中野」令和元年度の取り組み>

学校には、生徒や家庭・地域の実態をふまえ、生徒に「確かな学力」と「心豊かな人間性」、そして、自ら学び自ら考える「社会を生き抜く力」を身につけさせることが求められています。このことを踏まえた上で、創意工夫に富んだ取り組みを着実に進め、生徒が生き生きと活動する魅力と特色のある学校づくりを行うことが大切であると考えています。

中野中学校では、「4グループ(教育課程充実・心の育成支援・学校づくり・校内研究充実)の相互の連携」やこれまでも大切にしてきた「笑顔あふれる学校」「安心・安全な学校」「にこやかに語り合える学校」等を継承・充実するなかで、教育活動の推進を図り、学校教育目標の達成を図ってまいりました。

□令和元年度 中野中学校教育目標

「豊かな心を育み 自ら考え判断し 実践する生徒の育成」

<具体的にめざす生徒像>

- (1) 自分の考えを持ち、ともに高めあう学習態度をもった生徒
- (2) 諸活動に目標を持ち、思いやりをもってお互いに高めあっていく生徒
- (3) いつでも、どこでも、だれにでも、自らすすんで挨拶ができる生徒
- (4) 時間を守り、けじめのある生活習慣を身につけた生徒
- (5) 清掃美化活動やボランティア活動に積極的に取り組む生徒

- (1) 学校教育目標を達成させるため、「知」「徳」「体」を教育課程の中で調和を図りながら具現化しました。
- (2) 主体的に学習に取り組む生徒の育成に努めました。
 - 対話と協同のある学び合い学習を推進しました。
 - 家庭学習の習慣化を図りました(My コレ：課題プリントから自学帳への取り組みへ)。
 - 小学校と連携した教育活動と夢を育むキャリア教育を推進しました。
- (3) 生徒理解のもと、3年間の発達段階や系統性を考えて諸活動を推進しました。
- (4) よりよい人間関係を築く生徒の育成に努めました。
 - 楽しい学校生活に導く教育相談とQ-Uの充実を図りました。
 - 豊かな人間性を育む道徳教育を推進しました(特別の教科 道徳)。
 - 自己有用感を高めるボランティア活動を奨励しました。
- (5) 全職員が学校運営に対する参画意識を持ち、創意を活かして全職員の共通理解と協働体制(チーム学校:チーム中野)で教育活動を推進しました。
- (6) 教職員の資質向上と指導方法の工夫・改善を図る校内研究、研修を推進しました。
- (7) 人間尊重の基盤に立ち、生徒相互、生徒と教職員との人間関係・信頼関係づくりに努めました。
- (8) 開かれた学校づくりを推進し、保護者・地域との連携と協力関係を深めました。

□保護者アンケートとその結果について

*令和元年12月上旬に保護者アンケートを実施しました。以下が質問項目です。

- ① 学校は、「輝翼祭」「運動会」等の学校行事を通じて、教育目標に迫る取り組みを行っている。
- ② 学校は、保護者に情報の提供を行っている。
- ③ 学校は、保護者が授業を参観する機会や話す機会を設けている。
- ④ 4月から12月、授業参観や会議、PTAの活動や学校行事等で、学校に何回ぐらい参加されましたか？
1 9回以上 2 4回～8回 3 0回～3回
- ⑤ 楽しく、わかる授業をめざし、教師は授業の工夫をしている。
- ⑥ 基礎学力を身につけさせるための指導・支援がある。(補習や学習相談、Myコレ:家庭学習の課題を含む。)
- ⑦ 生徒会活動(委員会、学級での活動)への支援や取り組みに満足している。(「輝翼祭」「運動会」を含む。)
- ⑧ 道徳教育、人権を尊重する指導や取り組みはお子様の心を豊かにしている。(道徳の授業を含む。)
- ⑨ 一人ひとりに対する相談活動や支援に満足している。(悩みの調査や教育相談を含む。)
- ⑩ 心身の健康について考える指導や取り組みに満足している。(身体測定、性教育、食の指導を含む。)
- ⑪ 福祉や環境、ボランティアに対する指導や取り組みに満足している。(清掃ボランティア、福祉関係ボランティアなど。)
- ⑫ 将来の職業や進路についての指導・支援に満足している。
- ⑬ お子様は、友達関係が良好で落ち着いた学校生活を送っている。
- ⑭ お子様は、家庭学習の習慣が定着し、学習効果が上がっている。
- ⑮ お子様は、部活動に満足している。(地域のスポーツ・文化等の活動を含む。)
- ⑯ 緊急時(地震や台風など)の学校の対応について理解している。

*アンケート集計表

(人)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
	教育目標に迫る取組	保護者に情報提供	授業参観や話す機会	学校に来校する回数	わかる授業の工夫	基礎学力指導・支援	生徒会活動・取組	道徳教育、人権教育	相談活動支援に満足	心身の健康の指導・取組	福祉環境・ボランティア	職業や進路指導・支援	友だち関係が良好
大変良い◎	120	141	121	121	67	65	100	66	62	56	74	39	139
良い ○	125	101	118	99	161	155	140	166	154	172	154	169	98
要改善	11	14	17	36	28	35	11	18	31	22	28	46	13
*合計(人)	256	256	256	256	256	255	251	250	247	250	256	254	250

	⑭	⑮	⑯
	家庭学習の習慣が定着	部活動に満足	緊急時の学校の対応
大変良い◎	64	104	122
良い ○	104	106	120
要改善	85	34	12
*合計(人)	253	244	254



④ 4月から12月、授業参観や会議、PTAの活動や学校行事等で、学校に何回ぐらい参加されましたか？ 1 9回以上 2 4回～8回 3 0回～3回

◎保護者アンケート集計の記述回答(抜粋)等から

A<情報提供、学校公開>(1)『学校ホームページのブログで子供達の様子

がととてもよくわかります。たくさん写真を掲載していただき、ありがとうございます。』情報発信について多くの皆さまから評価していただいております。学校ホームページは生徒・保護者・地域の皆様に広く学校教育を理解してもらう目的他に生徒・教職員への励まし、生徒同士・保護者同士・教職員同士の話題(会話)提供の目的があります。ホームページの掲載写真について4月当初に保護者の皆さまに掲載許可をいただいておりますが、不都合があるときはその都度ご連絡をいただきたいと存じます。今後もホームページと共に学校だより・学年だより等の定期的な発行と充実に向けて参ります。学校メール(グループメール)も必要に応じ、適時に情報発信して参ります。

(2)学校と生徒・保護者の皆さまとの他の情報連携につきましては、これまで通り必要に応じた個別の連絡を緊密かつ適時(状況に応じ外部機関との連携も)に行い、生徒のより良い学校生活に役立てていきたいと存じます。



2年職場体験「オギノパン」

B<教育活動グループ（教育課程、心の育成、学校づくり、校内研究）>

(1)『Myコレが自学になっており、本人自らが課題をみつけ意欲的に取り組んでいる。家庭学習定着と成績アップにつながっている。』と多くの皆様から評価いただいております。家庭学習の習慣を身に付け、自発的な学習意欲を喚起し、基礎学力の定着のために「マイコレ～毎日1枚私のためにこれをやろう：プリント課題」に取り組んで参りました。そして2学期から3年生が、また3学期からは2年生全員が「自学帳」へ移行しております。1年生は1学期途中からプリント課題と「自学帳」を併用しております。引き続き「自学帳」を積極的に取り組むよう指導してまいります。ご家庭でもご配慮お願いいたします。



3年自学帳

(2)『高校等への進路に関する情報が保護者向けに早い時期に欲しい。』に関しまして、進路情報につきましては3年次だけでなく1・2年生にも随時提供して参ります。毎年2学期に実施している生徒・保護者対象「高校等の教員による進路説明会」を来年度も開催する予定です。



高校等説明会

(3)『定期テストでの各教科の平均点と学年順位を教えてください。』に関しましては、定期テストの各教科の平均点や学年順位は評価・評定に用いませので算出しておりません。評価・評定方法につきましては、毎年1学期の保護者会でお知らせしているとおり、定期テストの結果のみではなく、その他授業で作成・制作等した成果の評価も加味されます。単元ごとの観点別評価と学期ごとの観点別評価、評定への総括の方法もありますのでご不明な点は担任にお問い合わせください。

(4)『学力に相応する進学先の目安や受験の流れ、併願の仕組みを具体的に話して欲しい。』に関して、具体的な進学先については、「自らが希望する適切な進路を主体的な選択をする。社会的自立のために必要な能力の育成とともに。」という進路指導目標のもとに進路相談を実施しております。個別の進路・進学先、受験方法について、担任にご相談ください。また毎年各高校等が開催する入試等の学校説明会にぜひご参加ください。



3年理科「実験」

(5)『5教科(国・社・数・理・英)授業にてノートをとるようにすると家庭で復習をするのに役立つことができるのでは。』に関しまして、各教科や各単元(指導内容のまとめ)により板書(黒板に学習内容のまとめ等を書くこと)する場合と、ワークシート(1時間の授業内容の要点がまとめられている紙)を使う場合があります。年間を通じ、ノートではなくワークシートのみを使用する教科もあります。引き続き、ノートやワークシートを授業中に工夫してまとめ、事後の学習に役立つように指導して参ります。

(6)『数学、英語の授業内容が本人へ定着していないことを感じています。過去、中野中で行っていた数学のクラス分け(成績評価)をした上での授業のやり方を行って欲しいです。』数学において各学年ともに少人数指導(1学級を2つにわけ、それぞれ教員が指導)かチーム・ティーチング指導(1学級に2名の教員が指導)を行い、きめ細やかな対応をしております。英語では1年次にチーム・ティーチング指導を行っております。少人数指導の際には習熟度別ではなく原則、機械的に2つのグループにわけております。学習内容の定着のために「自学帳」を活用することや、年間を通じての「Jサプリ(放課後の補習)」や定期テスト前の放課後学習、長期休業中の学習会へ積極的に参加することをすすめていきます。授業内容の疑問点は、授業後に速やかに解決できるような教科担当とのさらなる人間関係づくりや時間的な配慮も各担当に促していきます。



冬休み「学習会」

(7)『定期テスト前の部活動停止期間は、テスト初日から1週間前にして欲しい。時間がたりず遅くまで勉強しています。』上記(3)で前述したように、評価・評定は定期テストだけで決定するものではなく、授業中の小テスト等も評価・評定の対象です。定期テストもそれらの小テストと同じ扱いとなります。ただ定期テストは小テストより学習内容の出題範囲が広いために、より計画的な家庭学習を指導しております。なお、定期テストの範囲表は2週間前に配布しています。現状の部活動停止期間である、朝練習は1週間前、放課後の練習は5日前からの停止で引き続き実施して参ります。



中体連県大会「剣道部」

C<その他> (1)『運動会は、雨天が予想される場合は、中止にしてもよいと思った。』近年の気象状況による天候の判断はきわめて難しい状況となっておりますが、生徒活動としてベストパフォーマンスが発揮できるように判断して参ります。また日程変更の場合も諸事情を総合的に勘案してまいります。『万が一のために暑さだけでなく一時的な雨よけのために運動会にテントがあった方がよいと思う。』これまで地域の皆様のご厚意で自治会のテントを借用して参りましたが、準備や片付けに多大なご負担を地域の方々におかけすることや運動会時期を10月10日前後にしたことにより、学校備品テントの使用だけの対応といたしました。今後は必要に応じ、学校備品テントの増設も検討して参りたいと考えております。



運動会「波乗りジョニー」

(2)『輝翼祭での課題曲はあと何年同じ曲を歌うのでしょうか。もっと楽曲を聴ける(歌える)チャンスなのにもったいないよ

うに思います。『輝翼祭の課題曲は、輝翼祭実行委員会を中心に選曲しております。今後も生徒の主体的活動を大事にして参ります。『体育祭は年々おとなしくなっている気がします。元気な子どもたちをずっと見ていきたいと思っています。』『いつも同じ行事の面ではなく、新しいことをやるのも「楽しい」につながるかと思います。体育祭一つにおいても同じプログラムではなくてもいいと思います。』これまでの輝翼祭ステージ部門・展示部門と運動会を令和2年度より「輝翼祭文化部門・体育部門」とし、さらに生徒自ら創造し、運営していく学校行事に変えていきます。チーム中野の生徒達の創造力にぜひご期待ください。



輝翼祭「3学年合唱」春に

(3)『通知表の学校から家庭への欄(所見)は一言でいいので子供の頑張りが分かることをコメントお願いしたいです。』1学期保護者会でお伝えしたとおり今年度より通知表の所見は、3学期のみといたしました。1・2学期は三者面談や終業式の通知表を交付する時に担任より口頭で所見相当の内容を伝えております。事前に伝える文書作成等これまでの通知表所見作成より多忙となりましたが、面談等での内容の充実度は増しました。ご家庭において面談等の内容をさらに話題にさせていただきたいと存じます。なお特別支援学級生徒の通知表の所見はこれまで通り全学期ともコメントの記載があります。

(4)『今年度は授業参観や保護者会に参加できることが少なかったですが、子どもの様子や学級通信などを読んでいる限りでは気になる所などは特に見当たりません。日々先生方が努力されている事がうかがえます。』と頂戴いたしました教職員へのお褒めの言葉に甘んじることなく、令和2年度に向け、更に気持ちを引き締めて「チーム中野」教職員一同努力して参ります。

□今後の改善の方策＝令和2年度 学校改善 基本方針＝

～笑顔あふれる、魅力ある中野中学校づくりのための4つの取り組み～

1 生徒が自ら進んで学習に取り組む力を育てる授業の創造に努めます。

- ① 対話と協同のある学び合い学習で達成感のある授業の推進
- ② 効果的な「チームティーチング(TT)、少人数指導」等、指導法の工夫
- ③ 補習や学習相談日による個別の「学習支援」
- ④ 「家庭学習」の習慣確立にむけた意図的な指導
- ⑤ 授業の質的向上を図る教員の「校内研修」を推進し、教科部会を充実



1年数学 TT 授業

2 生徒の自己指導力が育つ教育と確固たる規範意識の育成に努めます。

- ⑥ 生徒の主体的な活動を推奨し、自己決定の場や機会をより多く用意
- ⑦ 「特別の教科 道徳」の指導内容・方法の質的向上
- ⑧ 教育相談に向けた調査・いじめの調査・Q-Uを行い、一人ひとりに対応した教育相談の実施
- ⑨ 生徒一人ひとりにしっかりと向きあった支援を、行政等との連携により充実
- ⑩ 健全育成に向けた学校・家庭・地域社会の責任分担と連携を図る



PTA と生徒の花植え

3 学校と家庭・地域社会と連携・協力し、意図的な教育活動に努めます。

- ⑪ 地域社会の人的・物的な教育資源の効果的活用をとおり、社会に開かれた教育課程を推進
- ⑫ 保護者とコミュニケーションをはかる学級懇談会を開催
- ⑬ 学校・学年だより等の発行や学校ホームページによる積極的な情報発信
- ⑭ 地域活動等への生徒の参画を推奨し、地域活動活性化へ寄与
- ⑮ 小学校と連携した教育活動やキャリア教育を推進



公民館ボランティア

4 学校改善に活かす評価活動で、保護者との信頼関係構築に努めます。

- ⑯ 評価項目に学校の取り組みを示すなど、保護者等アンケートの工夫・実施
- ⑰ 適切な評価活動が可能な、「学校評議員会」を開催

相模原市立中野中学校 (チーム中野2019)

校長 菊地原 宏明
 所在地 〒252-0157 相模原市緑区中野 960 番地
 電話 042-784-1240
 FAX 042-784-1423
 学校 HP <http://www.sagamihara-nakano-j.ed.jp/>

